

令和6年度 園の自己評価(自己評価チェックリストをもとに)

評価項目	評価点	課題点	改善の取り組み
1. 園の基本姿勢について	園内研修でも繰り返し伝えており、園の理念、保育方針は全体的に周知できている。	具体的な保育の方向性などについて、共通理解が出来ていない部分もある。	保育について職員同士が語り合う機会を作る。
2. 保育所保育指針 (ア) 総則	子ども一人ひとりの現状について、把握が出来ており、職員同士の情報共有も比較的うまく出来ている。	勤務時間や経験等で保育内の中での対応に違いや差が生じないようにする必要がある。	チームワーク強化と職員それぞれの悩み、困りごとを把握する。
(イ) 保育の内容	年齢、発達段階、季節等にあった保育計画を立てることが出来ている。	実際の子どもの姿を生かし、計画と実践が出来るとような書式になっていない。	園の保育に合った計画の書式の検討と見直しをする。
(ウ) 健康及び安全	日々の健康管理や感染症対策も理解し、出来ている。保護者への情報提供も出来ている。	避難訓練がマンネリ化している。担当者任せになり、振り返りで課題があがっても、生かされていない。	避難訓練計画の見直しを行う。
(エ) 子育て支援	地域の公民館や郵便局などに園のポスターや作品を展示させてもらったり、地域行事に参加したり、地域の子育て家庭にも園の存在を意識して頂いている。	園外への情報発信は積極的に行っているが、実際に園に来て頂く機会がほとんどない。	入園前の保護者、地域の子育て家庭などが来園できるような機会を作る。
(オ) 職員の資質向上	状況に合わせて会場への参加かオンラインかを選びながら、積極的に課題に合わせた研修に参加することが出来ている。	研修の機会が少ない職員もいる。	時間や場所、参加の仕方など、多様な研修の機会をつくる。
(カ) 衛生管理	定期点検、確認は充分できており、保育室、調理室ともに衛生管理に努めることが出来ている。	外部から持ち込むものは、管理の徹底が難しいものもある。	搬入時の確認と業者への協力の依頼を行う。